2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	ペットゴー株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7140	URL	https://corp.petgo.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	黒澤　弘
問合せ先責任者	（役職名） 取締役経営企画部長	（氏名）	佐藤　建史　　(MAIL) ir@petgo.co.jp
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（投資家・アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,141	△17.7	△48	―	△64	―	△101	―
2026年３月期中間期	3,817	△15.8	△128	―	△133	―	△105	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△95百万円（　―%）　2026年３月期中間期　△99百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△49.92	―
2026年３月期中間期	△56.00	―

（注）2027年３月期中間期及び2026年３月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、１株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	2,948	1,196	39.4
2026年３月期	3,163	1,038	32.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　1,160百万円　　2026年３月期　1,010百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,992	7.7	153	―	138	―	82	―	43.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,227,000株	2026年３月期	1,889,200株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,783株	2026年３月期	3,783株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,028,616株	2026年３月期中間期	1,876,390株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件については、第２四半期(中間期)決算短信(添付資料)３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（決算補足説明資料の入手方法）

・決算説明補足資料は、決算短信の発表と同日に当社ウェブサイトに掲載しております。また、2026年11月16日(月)に投資家及びアナリスト向けに同資料を用いた決算説明会の開催を予定しております。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結貸借対照表関係） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、中東情勢による物価上昇の影響を受けつつも、個人消費は緩やかに増加しております。また、当社グループが取り扱うペットフードやペット用品は、犬猫の日常生活に必要な消費財であります。

当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は微増傾向にあり、原材料価格の高騰や円安に伴う頻繁な価格改定も重なり、物量の大幅な拡大は見られておりません。しかし、ペットを家族や子供のように扱う「ペットヒューマニゼーション」の進展により、飼い主の意識はペットとの暮らし全般に関わる「ペットライフ市場」へと広がりをみせております。

ペットライフ市場のうち「モノ消費」におきましては、物価高騰による節約意識が高まる一方で、健康意識の高まりを背景に高付加価値のフードといったヘルスケア需要が高まっております。また「コト消費」におきましても、犬猫とともに豊かな体験を共有する「体験の家族化」が浸透しており、「ペットのおでかけ市場」が新たな成長領域として台頭するなど、今後もペットライフ市場は堅調に推移していくことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールド～ペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

当社グループは、「モノ消費」領域でのDTCシフトによる利益構造の質的転換を継続しながら、M&A、アライアンスを通じて、高粗利・高LTVの「コト消費」領域へ事業領域を拡張し、ペットライフ・プラットフォームを構築していくことにより、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

当中間連結会計期間については、戦略投資をコントロールしつつ、DTCブランドの動物病院チャネルへの進出等の施策を実施しました。その結果、**DTCブランド製品の売上高は1,142,410千円**（**前中間連結会計期間比12.2%減**）となり前中間連結会計期間に対して減少しましたが、ブランド売上高合計に占める**DTCブランドの売上高比率は36.8%**まで拡大しております（前中間連結会計期間は34.0%）。また、「犬のおでかけ経済圏」の構築を目的として、西武グループと資本業務提携契約を締結しました。

これらの結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高3,141,606千円(前中間連結会計期間比17.7%減）、営業損失48,536千円(前中間連結会計期間は営業損失128,077千円）、経常損失64,474千円(前中間連結会計期間は経常損失133,557千円）、親会社株主に帰属する中間純損失101,275千円(前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純損失105,083千円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ペットコマース事業

当中間連結会計期間におけるペットコマース事業は、DTCブランドの動物病院チャネルへの進出等の施策を実施した結果、売上高は3,005,124千円、セグメント利益(営業利益)は129,271千円となりました。

また、ペットコマース事業における自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高は以下の通りとなります。

・自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高

（単位：千円）

販売経路別	第22期 中間連結 会計期間	第23期 中間連結 会計期間	増減
自社オンラインサイト	1,193,499	952,006	△241,493
他社オンラインモール等	2,508,800	2,053,118	△455,682
合　計	3,702,300	3,005,124	△697,175

② ペットメディア事業

当中間連結会計期間におけるペットメディア事業は、大型イベントを開催した結果、売上高は129,583千円、セグメント利益(営業利益)は21,780千円となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、215,128千円減少し、2,948,180千円となりました。これは主に、商品が75,467千円増加した一方で、売掛金が164,217千円及び未収入金が48,602千円とそれぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末と比較して372,384千円減少し、1,752,008千円となりました。これは主に、買掛金が218,563千円及び短期借入金が71,671千円とそれぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、157,255千円増加し、1,196,171千円となりました。これは主に、第三者割当増資等により、資本金が125,499千円及び資本剰余金が125,499千円と増加した一方で、親会社株主に帰属する中間純損失101,275千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べ25,806千円増加し、864,546千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、107,866千円の支出となりました。これは主に、増加要因として、売上債権の減少額164,217千円があった一方で、減少要因として、税金等調整前中間純損失の計上64,474千円及び仕入債務の減少額218,563千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,529千円の支出となりました。これは主に、減少要因として、有形固定資産の取得による支出4,893千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、140,203千円の収入となりました。これは主に、第三者割当増資による株式の発行による収入246,566千円があった一方で、短期借入金の減少額71,671千円及び長期借入金の返済による支出36,468千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、当社グループが合理的と判断する一定の条件に基づいた目標数値となっております。第３四半期以降も、「DTCシフト」による利益構造の質的転換を継続してまいります。

また、西武グループとの資本業務提携による2027年３月期の連結業績への影響につきましては軽微でありますが、両社の強みを活かしたシナジー創出により、翌連結会計年度以降の業績向上へ寄与する計画となります。その他、業績予想の前提とした状況に大きな変化はなく、2026年５月15日付け「2026年３月期決算短信」で発表しました連結業績予想数値に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,739	864,546
売掛金	478,065	313,847
商品	1,057,898	1,133,366
貯蔵品	2,807	4,614
未収入金	126,774	78,171
その他	97,190	37,994
流動資産合計	2,601,475	2,432,541
固定資産		
有形固定資産		
建物	78,853	80,723
車両運搬具	7,362	8,741
工具、器具及び備品	104,685	105,831
リース資産	3,428	3,428
減価償却累計額	△92,978	△102,061
有形固定資産合計	101,351	96,664
無形固定資産		
のれん	350,560	323,879
ソフトウエア	54	31
その他	262	1,652
無形固定資産合計	350,878	325,563
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,594	16,101
その他	77,009	77,309
投資その他の資産合計	109,603	93,410
固定資産合計	561,833	515,638
資産合計	3,163,309	2,948,180

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	624,712	406,148
短期借入金	824,998	753,327
１年内返済予定の長期借入金	72,936	72,936
未払金	186,030	126,926
未払法人税等	30,772	20,088
賞与引当金	18,987	16,125
その他	78,368	67,204
流動負債合計	1,836,804	1,462,757
固定負債		
長期借入金	218,585	182,117
資産除去債務	52,845	53,273
その他	16,157	53,859
固定負債合計	287,587	289,250
負債合計	2,124,392	1,752,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,560	590,060
資本剰余金	426,862	552,362
利益剰余金	122,385	21,109
自己株式	△3,074	△3,074
株主資本合計	1,010,734	1,160,457
新株予約権	―	1,775
非支配株主持分	28,182	33,938
純資産合計	1,038,916	1,196,171
負債純資産合計	3,163,309	2,948,180

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,817,376	3,141,606
売上原価	2,698,631	2,107,725
売上総利益	1,118,744	1,033,880
販売費及び一般管理費	1,246,822	1,082,417
営業損失（△）	△128,077	△48,536
営業外収益		
受取利息	1,111	1,497
受取補償金	575	5,180
受取賃貸料	11,848	―
その他	731	651
営業外収益合計	14,266	7,328
営業外費用		
支払利息	8,082	11,527
新株発行費	―	7,376
支払賃料	11,434	―
その他	229	4,362
営業外費用合計	19,746	23,266
経常損失（△）	△133,557	△64,474
税金等調整前中間純損失（△）	△133,557	△64,474
法人税、住民税及び事業税	18,124	14,552
法人税等調整額	△52,584	16,493
法人税等合計	△34,460	31,045
中間純損失（△）	△99,097	△95,519
非支配株主に帰属する中間純利益	5,985	5,756
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△105,083	△101,275

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純損失（△）	△99,097	△95,519
その他の包括利益	―	―
中間包括利益	△99,097	△95,519
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△105,083	△101,275
非支配株主に係る中間包括利益	5,985	5,756

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△133,557	△64,474
減価償却費	3,437	9,127
のれん償却額	21,379	26,681
受取利息	△1,111	△1,497
支払利息	8,082	11,527
売上債権の増減額（△は増加）	52,453	164,217
棚卸資産の増減額（△は増加）	196,687	△77,274
仕入債務の増減額（△は減少）	18,654	△218,563
未払金の増減額（△は減少）	△32,058	△58,605
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,099	△2,861
その他	△57,835	102,411
小計	72,033	△109,311
利息の受取額	1,111	1,497
利息の支払額	△7,880	△11,685
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△63,829	11,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,434	△107,866
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,406	△4,893
無形固定資産の取得による支出	―	△1,328
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△281,380	―
その他	△22,221	△306
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,008	△6,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△81,698	△71,671
長期借入金の返済による支出	△37,683	△36,468
株式の発行による収入	―	246,566
その他	―	1,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,381	140,203
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△427,955	25,806
現金及び現金同等物の期首残高	1,263,596	838,739
現金及び現金同等物の中間期末残高	835,641	864,546

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年７月15日付で、株式会社ブルーインキュベーションから第三者割当増資の払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ123,283千円増加しております。この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が590,060千円、資本剰余金が552,362千円となっております。

（中間連結貸借対照表関係）

当社は運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関４行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当中間連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
当座貸越極度額の総額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	824,998 〃	753,327 〃
差　引	1,175,002千円	1,246,673千円

（セグメント情報等）

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	調整額(注)１	中間連結損益計算書(注)２
	ペットコマース事業	ペットメディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,702,300	115,075	3,817,376	―	―	3,817,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	3,702,300	115,075	3,817,376	―	―	3,817,376
セグメント利益又は損失(△)	29,760	23,043	52,804	―	△180,882	△128,077

(注)１．セグメント利益又は損失の調整額△180,882千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としており、新たに「ペットメディア事業」と記載しております。また、ペットゴー株式会社及びペットゴープロダクツ株式会社のペットヘルスケア事業につきましては、「ペットコマース事業」と記載しております。

３．報告セグメントごとののれんに関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「ペットメディア事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としたことにより、当中間連結会計期間末において320,691千円を計上しております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他(注)１	調整額(注)２	中間連結損益計算書(注)３
	ペットコマース事業	ペットメディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,005,124	129,583	3,134,708	6,897	―	3,141,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	3,005,124	129,583	3,134,708	6,897	―	3,141,606
セグメント利益又は損失(△)	129,271	21,780	151,052	△8,626	△190,962	△48,536

(注)１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△190,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。